

### 第3学年 社会科学習指導案

児童数 48名  
指導者 中村 優太  
田中 美祐

#### 1 単元名 福光大火とたたかったヒーロー ～火事からくらしをまもれ！～

#### 2 単元について

子供たちは1学期の社会科の学習で、教師が提示した2種類の町の音について、どこの音なのかを確かめようと実際に学校周辺を歩いて調べ、見たり聞いたりする体験的な活動を行ってきた。また、公共施設の位置や交通の様子等について興味・関心をもって学習を進めてきた。福光地域の特徴について考える場面では、「横断歩道で見守り隊が私たちの命を守ってくれる優しい地域」、「商店街が広がり、いろいろな仕事をして人を喜ばせる明るい地域」と発言する子供の姿が見られた。学校での学びだけでなく、生活経験を基に福光地域の様子を捉えようとしている様子を感じられた。さらに、前単元『わたしたちがすむ南砺市は』では、地形、土地利用、交通の広がり、公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布等に注目して、南砺市内の各地域の特徴を比較・分類してきた。単元の終末に互いの考えを聴き合う場面では、「平らな地形を生かした農業が盛んな地域」、「くらしに便利な公共交通や公共施設が充実している地域」、「歴史ある建造物に観光客が集まる地域」等、どの地域にもよさがあると発言する子供たちの姿が見られた。こうした子供たちの姿から、自分たちが住んでいる南砺市への愛着を感じられた。しかし、社会科で見られる子供たちの気付きや考えには、「近所の人」「見守り隊」「商店街の人」のような、南砺市内の人々を捉えようとしている様子を感じられるものの、自分自身との関わりに着目する姿は見られない。

一方で、課外での子供たちの様子からは、運動会に向けて団員を励ます姿、他の団に勝つための作戦を考えて団員に広める姿、仲間と楽しい学級生活を送ることができるように集会を開く姿、進んで学級の仕事に取り組む姿が見られる。仲間のために自分にできることを見付けて、実行しようとする子供たちの前向きな姿勢を社会科の学習に生かすことは、社会的事象と自分との関連を見だし、よりよい社会を目指して選択・判断するという社会科で目指す資質・能力の育成につながると考える。自分自身を主語にして、社会の一員として自分にできることを考えようとする子供の姿を期待して、題材や事例を選んだ。

題材として、自分も様々な立場の当事者（火災を引き起こす人、被災者、発生源の近くにいる人、消防団、消防署の人等）になる可能性がある火災を扱う。本単元では、身近な事例を取り入れ、題材について自分にできることを考えようとする子供の姿を期待し、福光大火を扱う。身近な事例を基に、消防署の人の働きや、地域の人から構成される消防団の人の働き等を考え、火事について多角的に追究する中で、「火事のない社会になってほしい」という願いをもって火災予防につながる取組を考えたり、「僕も火事が起こったら地域の人のからしを守りたい」という強い思いをもったりする子供の姿に期待する。そして、地域社会の一員として自分にできることを考えようとする前向きな姿勢で生きる子供を育てたい。

#### 3 単元の目標

- ・消防署や関係機関は、地域の人々の安全を守るために、緊急時に対処する体制を整えていることや、防火に努めていることを理解することができる。
- ・火災から人々の安全を守るための働きについて、消防施設・消防設備等の配置、緊急時への備えや対応などに着目して、消防署や関係機関、地域の人々の働きを考え、表現することができる。
- ・主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域の安全を守るために地域社会の一員として自分にできることを考えようとする。

#### 4 単元の評価規準

|                             | 知識・技能                                                                                                                                                                                                                       | 思考・判断・表現                                                                                                                                                                                                                                                   | 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                                              |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 単元<br>の<br>評<br>価<br>規<br>準 | <p>① 消防施設・消防設備等の配置、緊急時への備えや対応等について、消防署や関連する施設を見学・調査したり、資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>② 調べたことを図や文にまとめ、消防署や関係機関は、地域の人々の命を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、消防署や関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。</p> | <p>① 消防施設・消防設備等の配置、緊急時への備えや対応等に着眼して問いを見だし、消防署や関係機関、地域の人々の諸活動について考え、表現している。</p> <p>② 連携・協力している消防署や関係機関の働きを比較・分類したり関連付けたりする、消防署や関係機関の相互の関連を考える、消防署や関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を関連付けるなどして、人々の働きを考えている。また、学習したことを基に、地域の人々や自分自身の命を守るためにできることを考えたり、選択・判断したりしている。</p> | <p>① 火災から地域の人々の安全を守る働きについて予想する、学習計画を立てる、学習を振り返るなどして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>② 学習したことを基に、自分自身や地域の人々の安全を火災から守るために自分にできることを考えようとしている。</p> |

#### 5 研究主題との関連

##### 研究主題

思いや願いを明らかにして、主体的に学ぶ子供の育成  
— 追究意欲を高める授業実践を通して —

##### 視点1 主体的な学びにするための工夫

3年生は社会科の学習の経験が他学年より少ないことから、自立して学びを進めることは他学年と比べて困難であると考えます。そこで、授業者の意図的資料と単元構想によって子供に生じる思いや願いを契機とし、粘り強く学習に取り組もうとする子供の姿勢を支えたい。

##### (1) 子供が主体的に学ぶことができる単元の導入や単元構想、教材の工夫

日々の生活の中で困り感が少ない状況では、「よりよい暮らしの実現に向けて行動しよう」という思いや願いが生じにくい。子供も同様であり、火事の発生、消防署や消防団による消火活動等の一連の流れを説明されても、危機的状況を感じにくいだろう。子供が「このままではいけない」、「なんとかしなければならぬ」と感じる場面を、授業者が意図的に設定することで、当事者意識をもって学びに向かう子供の姿が見られると考える。そこで、福光大火が起こった日の消防署の人や地域の人々の行動を時系列で示したり、様々な立場の人をゲストティーチャーとして招いて話を聞く場面を設定したりする。そうすることで、「火事が起きたときに、消防署の人はどんな思いで活動するのか」「僕も自分のくらしや福光を守るためにできることを見付けて行動できるようになりたい」という思いや願いが高まるようにする。

##### (2) 既習の学習内容との矛盾から、子供の思いや願いが生じる場面の設定

第二次では、第一次で「火事から私たちのくらしを守るために、消防署の人が様々な工夫をしている」ということを学んだ子供たちに揺さぶりをかける意図的資料を提示し、第一次で学んだこととの矛盾から追究意欲が高まることを期待する。

・地域の消防団の人を取り上げ、普段の仕事の服装をした姿と、消防団の仕事をしているときの服装をした姿の写真を提示する。「火事からくらしを守るのは、普段から訓練をしたり消防車の点検をしたりする消防署の人であるはずだ。それなのに、普段は他の仕事をしている消防団の人も、火事が

ら地域の人々のくらしを守るために活動しているのはなぜだろう。」という矛盾から、消防団の人の働きについて調べようとする追究意欲を高めたい。

- ・南砺市内の消防署の人の数と消防団の人の数が分かるグラフを提示し、「火事からくらしを守るのは消防署の人であるはずだ。それなのに、消防団の人の数の方が多いのはなぜだろう。」という矛盾を契機として、消防団の人の働きに着目できるようにする。

### (3) 子供に選択・判断を迫り、思いや願いが生じる場面の設定

第二次で、火災から自分自身や家族、地域の人々を守るために、自分にできることを考えることができるよう、南砺市内の消防団の人の数の推移が分かるグラフを提示する。南砺市内の消防団の人の数が減少傾向にあるという事実から、「この先、火事から南砺市の人々のくらしを守ることはできるのか。」と問題意識を高め、自分にできることを主体的に考えて取り組むことができるようにする。

#### 視点2 協働的な学びにするための工夫

仲間から自分の問いを追究する自分自身の存在を認めてもらえたと実感することで、安心して学ぶことができ、追究意欲が高まると考える。そのため、仲間と互いに認め合うことができるよう、思いや願いを交流する場、学習成果を交流する場、学習過程を交流する場を意図的に設定する。

#### (1) 顔マークを用いた聴き合い（思いや願いの交流）

朝の会の聴き合いタイムでは、話し手の気持ちを可視化する顔マークを用いている。顔マークには、聴き手が話し手の思いや願いを受け止めやすくする役割がある。社会科の授業でも同様に、顔マークを用いた聴き合いは、聴き手が話し手の気持ちを受け止めることを支える。話し手の満足感だけでなく、聴き手も「〇〇さんも私と同じ気持ちで安心した」「私は〇〇さんと少し調べたことが違ったけれど、私の学びも聞いてもらえた。調べたことが間違っていなかった。」など、その先の追究に安心して取りかかると考える。そのため、顔マークを用いた聴き合いを授業に取り入れ、話し手の気持ちを可視化して、聴き手が共感できる場面を設定していきたい。

#### (2) 子供の学びを広めるための掲示（学習の成果の交流）

子供一人一人が問いをもって追究する中で、互いの気付きが分かるよう、子供一人一人が抱いた問い、授業中の子供の発言や記述をまとめたもの等、子供の追究過程を掲示する。また、火事からくらしを守るための消防署の工夫について、子供自身がまとめるカードを掲示する。第一次では、聴き合いの場面で、自分の学びを用いて発言する仲間の姿から、自分の学びを受け入れてもらったことへの満足感を得た子供の姿もあった。第二次でも引き続き、子供の追究過程が分かる掲示物を通して、学んだことを互いに認め合える環境をつくっていきたい。

#### (3) 学習空間を選択する「学び合いコーナー」と「一人学びコーナー」の設置（学習過程の交流）

総合的な学習の時間の学習では、資料を見付けて進んで取り組む子供がいる一方で、一人学習を進めることが難しい子供もいる。また、仲間の学びを参考にして、自分の学びに取り入れる子供も多々いる。そこで、自分に合った学び方を選択できるよう、「学び合いコーナー」と「一人学びコーナー」を設ける。「学び合いコーナー」と「一人学びコーナー」を設置し、自分に合った方法やタイミングで協働することができるようにする。

# 6 指導と評価の計画（全19時間）

| 次                              | 時                   | 学習活動                                                                                                                                                                                        | 評価規準・評価方法                                |                                          |                       |
|--------------------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------|
|                                |                     |                                                                                                                                                                                             | 知識・技能                                    | 思考・判断・表現                                 | 主体的に学習に取り組む態度         |
| 第一次<br>消防署の働き                  | 1<br>3<br>総合的な学習の時間 | <b>福光大火とたたかったヒーロー～火事からくらしをまもれ！～</b><br>・单元名「福光大火とたたかったヒーロー～火事からくらしをまもれ！～」と出会う。<br>・当時の中部小の子供の作文と消防署の人の行動をスライドで見る。<br>・福光大火を起した現場に住んでいた人から話を聞く。<br>・福光大火が起きた当時の消防署の人から話を聞く。                  |                                          |                                          | ①<br>(ワークシート・発言)      |
|                                | 4<br>10             | 学習課題① 火事からくらしを守るために、消防署の人はどんな工夫をしているのだろうか？<br>・消防施設・消防設備等の配置、消防署の人の緊急時への備えや対応等について、自分の問いを見付ける。<br>・自分の問いについて調査する。<br>・消防署を見学する。<br>・学習課題①について自分の考えをまとめる。                                    | ①<br>(ワークシート・発言)                         | ①<br>(ワークシート・発言)                         | ①<br>(ワークシート・発言・行動観察) |
|                                | 11                  | ・学習課題①について、追究し終えた今の気持ちを聴き合う。                                                                                                                                                                |                                          |                                          | ①<br>(ワークシート・発言・行動観察) |
| 第二次<br>消防団の働きと課題・南砺市の消防力の持続可能性 | 12                  | ・消防団の人が活動している場面の写真を見る。<br>・消防団の人の普段の仕事の服装をしている写真と消防団の服装をしている写真を見る。<br>・現在所属する消防署の人と消防団の人の数が分かるグラフを見る。<br>・消防署の人と消防団の人の一日の生活を比べる。<br>学習課題② 火事からくらしを守るために、消防団の人はどんな工夫をしているのだろうか？              |                                          |                                          | ①<br>(ワークシート・発言)      |
|                                | 13<br>17            | ・消防団に関する消防施設・消防設備等の配置、消防団の人の緊急時への備えや対応等について自分の問いを見付ける。<br>・調べたことや学び方を共有する。<br>・自分の問いについて調査する。<br>・消防団の人にインタビューをする。<br>・学習課題②について自分の考えをまとめる。                                                 | ①<br>(ワークシート・発言)<br><br>②<br>(ワークシート・発言) | ①<br>(ワークシート・発言)<br><br>②<br>(ワークシート・発言) | ①<br>(ワークシート・発言・行動観察) |
|                                | 18<br>(本時)<br>19    | ・学習課題②について追究し終えた今の立場と気持ちを聴き合う。<br>・消防団の人から、消防団の一員であることの誇りと消防団の課題を聞く。(動画)<br><b>南砺市はこれからも火事からくらしを守っていけるのだろうか？</b><br>・学習課題について「安心」と「心配」の間で自分の立場を決め、その思いを聴き合う。<br>・火事からくらしを守るために自分にできることを考える。 |                                          |                                          | ②<br>(ワークシート・発言・行動観察) |

## 7 本時の学習（18／19時間）

(1) 目標 消防団について追究した今の思いを聴き合ったり、「南砺市はこれからも火事からくらしを守っていけるのだろうか？」について話し合ったりする活動を通して、自分自身や地域の人々のくらしを火災から守るために、社会の一員として自分にできることを考えようとする。

### (2) 展開

| 配時 | 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ・教師の支援 ◆評価                                                                                                                                                                                                                       |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 20 | <p>1 消防団について追究した今の思いを聴き合い、調べたことや考えたことを振り返る。</p> <p>私は、自分の仕事をしながら他の人の命を守るために消防団の活動をしている消防団の人がすごいと思ったよ。いつ火事が起きても出動できるように、スマートフォンを常に持ち歩いて出動命令がないかチェックしたり、消防設備を点検したりすることを継続的にしなければならいなんて、私にはできないよ。でも、調べているうちに消防団の人が減っていることが分かったよ。火事から私たちの命を守ってくれる消防団の人が減ってしまうことは心配だな。消防団の人が減っている分、自分にできることを考えてしなければならないな。</p>                                                                                                                                                                              | <p>全体</p> <p>・子供が前時までの学習内容を振り返ることができるよう、今までの学びを模造紙にまとめて掲示する。</p>                                                                                                                                                                 |
|    | <p>【消防団の活動の大切さに共感する子供】<br/>私も消防団の人は大切だと思ったよ。調べる前は、消防団の人は自分の仕事もしなければならなくて短い時間しか活動する時間がないため、消防団の仕事は少ないのかなと思っていたよ。でも、消防署の人と同じように訓練したり点検したりしてくれるおかげで、私たちは火事から守られているのだから、とても大切な仕事だと思ったよ。</p> <p>【消防署の仕事の違いから消防団の活動の大切さに共感する子供】<br/>消防署の人が放水するときに使う水は、消防団の人が消火栓を点検したり、ホースに水を送ったりするおかげで使うことができるよ。だから、消防団がいないと消防署の人が消火活動にあたることができないため、消防団が一番大切な仕事をしていると思うよ。</p> <p>【消防団の人が減ってきていることに驚く子供】<br/>消防団の人が減ってきていることを知って、とてもびつくりしたよ。なぜなら、消防署の人だけではなく、消防団の人も私たちの命を火事から守ってくれるためにあってはならない存在だと思うからだよ。</p> |                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3  | <p>2 学習課題を確認する。</p> <p>南砺市はこれからも火事からくらしを守っていけるのだろうか？</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>全体</p> <p>・聞き手が第一発言者の思いや願いを受け止めることができるよう、第一発言者が学んだことを裏付ける資料を準備する。</p>                                                                                                                                                         |
| 15 | <p>3 「南砺市はこれからも火事からくらしを守っていけるのだろうか？」について自分の立場を名札マグネットで表し、話し合う。</p> <p>安心だ ← 心配だ</p> <p>消防団の人は特別な人ではなく地域の人だから、消防団の人が減ったとしても、自分たちでできることを増やせば、自分たちの命を守ることができて安心だよ。</p> <p>火を消す人が少なくなることは心配だけれど、そもそも火事を起こさなければいいのだから、自分たちが気を付ける意識を高めれば安心できるよ。</p> <p>消防団の仕事は大きいから、私も心配だよ。消防団の人が早く駆け付けてくれるおかげで守れる命もあると思うからだよ。</p> <p>消防団の人が少ないと、火事が起きた時に駆け付けてくれる人が少なくなってしまうから心配だよ。</p>                                                                                                                      | <p>全体</p> <p>・子供が自分の立場と友達の立場を視覚的に捉えることができるよう、名札マグネットを用いて自分の立場を黒板に貼る場面を設ける。</p> <p>・「心配のままでよいのか？」と問い返し、自分にできることを考えようとする子供の思いを引き出す。</p> <p>◆主体的に学習に取り組む態度<br/>社会の一員として、自分自身や地域の人々を火災から守るために自分にできることを考えようとしている。<br/>(発言、ワークシート)</p> |
| 7  | <p>4 学習を振り返る。</p> <p>消防団の人が減っているから、将来も火事から私たちのくらしを守っていくことができるか心配になったよ。消防団の人が減っている分、自分にできることを見付けて実行しなければならないと思ったよ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <p>個人</p>                                                                                                                                                                                                                        |

(3) 視点 消防団について追究した今の思いを聴き合ったり、「南砺市はこれからも火事からくらしを守っていけるのだろうか？」について話し合ったりすることは、社会の一員として自分にできることを考えようとするために有効であったか。